

事業番号

2023 - 文科 - 22 - 0468 - 01

令和5年度セグメントシート

(日本芸術文化振興会)

セグメント名	養成研修事業			担当部局庁	文化庁	作成責任者		
事業開始年度	平成15年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	企画調整課	企画調整課長 寺本恒昌		
会計区分	一般会計							
セグメント単位の考え方	中期目標に基づく							
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人日本芸術文化振興会法 第3条			関係する計画、通知等	文化芸術推進基本計画(平成30年3月6日閣議決定)			
				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (5行程度以内)	我が国古来の伝統的な芸能の伝承者の養成等を行い、その保存及び振興を図るとともに、我が国における現代の舞台芸術の実演家等の研修等を行い、その振興及び普及を図り、もって芸術その他の文化の向上に寄与することを目的とする。							
現状・課題 (5行程度以内)	振興会は以下に示すような課題に対応していくことにより、持続的な開発への貢献等様々な社会的諸要請に応え、芸術その他の文化の向上に寄与する施策を実施することが求められている。 ・伝統芸能分野の課題解決に向けて振興会が中心的な役割を果たしながら、その上で伝統芸能分野の養成研修については、応募者の増加と研修生の就業定着を図ること。							
事業概要 (5行程度以内)	伝統芸能の伝承者の養成、現代舞台芸術の実演家その他の関係者の研修を行う。							
事業概要URL	-							
予算額・執行額 (単位:百万円)	経常収益	予算額	当初予算: 運営費交付金(A)	657.2	791.5	800.4	897.4	-
			補正予算: 運営費交付金(B)				-	-
		執行額	運営費交付金(C)	653	701.4	791.1		
			補助金等(D)	0.6	-	-		
			その他(E)	27.7	30.8	47.4		
			計(F) =(C)+(D)+(E)	681.3	732.1	838.5		
	運営費交付金収益の割合 =(C)/(F)	95.8%	95.8%	94.3%				
	運営費交付金収益化基準	業務達成基準	業務達成基準	業務達成基準				
	経常費用	予算額(G)	-	-	-			
		執行額(H)	669.3	720.7	849.9			
		執行率(I) =(G)/(H)	-	-	-			
	令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
(項)		独立行政法人日本芸術文化振興会運営費						
(目)		独立行政法人日本芸術文化振興会運営費交付金	897.4					
		その他						
		計(A)	897.4	-				

活動内容① (アクティビティ)	伝統芸能の伝承者の養成、現代舞台芸術の実演家その他の関係者の研修を行う。								
↓									
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	伝統芸能の伝承者の養成及び現代舞台芸術の実演家その他の関係者の研修	研修生の修了者数	活動実績	人	30	31	35	-	-
当初見込み			人	31	33	36	28	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	中期目標において、「振興会は、伝統芸能の保存振興、現代舞台芸術の振興普及を図るため、伝統芸能の伝承者の養成及び現代舞台芸術の実演家その他の関係者の研修を長期的な視点に立ち効果的かつ効率的に実施する必要がある」とされており、指標として研修修了者の状況が定められていることを踏まえて、成果目標として設定した。							
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 9 年度	
	独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価について、伝統芸能の伝承者の養成及び現代舞台芸術の実演家その他の関係者の研修の項目で標準評価以上の評価を受ける。	文部科学大臣決定に基づく評価基準(大項目におけるB評価以上の割合) 中期目標の期間(令和5年度～令和9年度)	成果実績	%	100	100	-	-	
			目標値	%	100	100	100	100	
達成度			%	100	100	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	独立行政法人日本芸術文化振興会の業務の令和4年度における業務の実績に関する評価(文部科学大臣)								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	中期目標・中期計画において定めた計画に沿った事業が行われたかについては、各年度評価をもとに中期目標期間終了後に作成される中期目標期間実績評価にて評価されること踏まえて、当該評価を成果目標として設定した。							
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度	
	独立行政法人通則法に基づく主務大臣による第5期中期目標期間実績評価のうち、伝統芸能の伝承者の養成及び現代舞台芸術の実演家その他の関係者の研修の項目について、標準評価以上の評価を受ける。	文部科学大臣決定に基づく評価基準(大項目におけるB評価以上の割合) 中期目標の期間(令和5年度～令和9年度)	成果実績	%	-	-	-	-	
			目標値	%	-	-	100	100	
達成度			%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	独立行政法人日本芸術文化振興会の第5期中期目標期間における業務の実績に関する評価(文部科学大臣)								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

アクティビティから長期アウトカムについて6つ以上記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック	
独法所管部局による点検・改善								
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティ①については、退所者1名を除き、当初見込みとおり研修を修了した。 ・支出先の選定に当たっては、一般競争入札による調達を実施し、他の調達についても共同調達の実施、複数年契約への移行、契約監視委員会による厳正な審査を行うなど、競争性の確保、単位あたりのコスト削減に努めている。 						目標年度における効果測定に関する評価(令和10年度)	
	改善の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティ①については、引き続き養成事業について周知を図るとともに、研修生のメンタルヘルスカウンセリング等を実施する。 ・一者応礼改善のために、契約監視委員会において契約内容を点検を行い、仕様書の改善や複数年契約への移行等により、契約の競争性・公平性・透明性を確保する。 						
備考								
-								

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位: 百万円)

文化庁
11,516百万円

事業概要
独立行政法人日本芸術文化振興
会に対し、その業務の財源に充て
るために必要な金額を交付する。

【A】
独立行政法人日本芸術文化振興会
11,516百万円

【D】
養成研修事業
公益法人、民間会社等
(888件)
848百万円

伝統芸能の伝承者の養
成及び現代舞台芸術の
実演家その他の関係者
の研修

A.独立行政法人日本芸術文化振興会			B.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費(物件費)	養成研修費、資料収集活用費、業務委託費等(内訳は、B～F参照)	6,404			
事業費(人件費)	事業系人件費	2,249			
一般管理費(物件費)	業務委託費、借料及び損料、機械保守費、旅費、消耗品費等	1,817			
一般管理費(人件費)	管理系人件費	1,046			
計		11,516	計		
C.			D.公益財団法人新国立劇場運営財団		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
			業務委託費	令和4年度新国立劇場業務委託	463
計			計		463

費目・使途
 (「資金の流れ」において
 ブロックごとに最大の金
 額が支出されている者につ
 いて記載する。費目と
 使途の双方で実情が分
 かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契 約 方 式 等	入 札 者 数 (応募者数)	落 札 率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約とな った理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	独立行政法人日本芸術文化振興会	7010005006877	我が国の芸術その他の文化の向上を図ることを目的として、(1)文化芸術活動にたいする奨励(2)伝統芸能の保存及び振興(3)現代舞台芸術及び普及等の事業を行う	11,516	運営費交付金交付	-	-	

D

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契 約 方 式 等	入 札 者 数 (応募者数)	落 札 率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約とな った理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	公益財団法人新国立劇場運営財団	7011005003749	令和4年度新国立劇場業務委託	463	随意契約(その他)	-	-	
2	公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団	7360005004284	令和4年度国立劇場おきなわ業務委託	53	随意契約(その他)	-	-	
3	日本総合舞台美術株式会社	3010501010485	養成研修公演大道具・小道具の賃貸及び管理等業務委託	19	随意契約(その他)	-	-	
4	東京電力パワーグリッド株式会社	3010001166927	国立劇場及び国立能楽堂電気料	9	随意契約(その他)	-	-	
5	株式会社パンフィックアートセンター	6010001054501	養成研修公演舞台技術業務の委託	5	随意契約(その他)	-	-	
6	株式会社パンフィックアートセンター	6010001054501	養成研修公演舞台照明業務の委託	2	随意契約(その他)	-	-	
7	松竹衣裳株式会社	6010001046003	養成研修公演舞台衣裳の賃貸借及び着付等業務委託	6	随意契約(その他)	-	-	
8	公益財団法人文楽協会	2120005015211	令和4年度文楽公演に関する上演契約に基づく養成研修公演出演料	6	随意契約(その他)	-	-	
9	首都圏ビルサービス協同組合	1010405002003	(独)日本芸術文化振興会施設(準町地区及び国立能楽堂)警備等業務	5	一般競争契約(総合評価)	1	-	
10	株式会社トーカンオリエンス	7011401010984	国立劇場及び国立能楽堂構内清掃業務	5	一般競争契約(総合評価)	3	-	
11	東京演劇かつら株式会社	8010001122090	養成研修公演かつらの賃貸借	3	随意契約(その他)	-	-	